

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	環境教育の実践普及		担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	教育課程課		教育課程課長 塩見みつ枝		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-1 確かな学力の育成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	学習指導要領改正通知(平成20年3月28日) 教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	持続可能な社会の構築、低炭素社会の実現を目指した環境教育を推進すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境教育に関する優れた実践を促し、その成果の全国への普及を図るため次の事業を実施。 (1)環境のための地球学習観測プログラム(グループ)への参加 (2)環境教育に関する実践発表大会(全国大会) (3)環境教育・環境学習指導者養成基礎講座の開催							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	22	13	11	8.9	
		繰越し等	-	0	0	0		
		計	-	22	13	11	8.9	
	執行額	-	15	9				
	執行率(%)	-	68.2%	69.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	成果目標:各学校における環境教育の充実 成果指標:小中学校の総合的な学習の時間における環境に関する学習の実施率		成果実績(小)	%	83.2	-	84.1	90
			達成度(小)	%	92.4	-	93.4	
			成果実績(中)	%	46.6	-	39.3	50
			達成度(中)	%	93.2	-	78.6	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	・環境のための地球学習観測プログラム(グループ)指定校数		校	-	19 (19)	15 (20)	- (15)	
	・実践発表大会(岩手県)※震災のため中止		回	-	1 (1)	0 (1)	- (1)	
	・環境教育・環境学習指導者養成基礎講座開催数		回	-	7 (7)	1 (2)	- (7)	
単位当たりコスト	228,392(円/校)		算出根拠	X=23年度執行額:3,426千円 Y=機関数:15校				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.6百万円	0.4百万円	環境教育・環境学習指導者養成基礎講座(環境教育リーダー研修)について、事業内容の見直し及び開催箇所数の精選を行い、25年度要求において開催箇所数を削減したため。				
	職員旅費	0.7百万円	0.7百万円					
	委員等旅費	0.9百万円	0.8百万円					
	教職員研修費	4.8百万円	3.5百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費	4百万円	3.5百万円					
	計	11百万円	8.9百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業は、教育基本法や学校教育法等において環境教育の重要性・必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業であり、事業実施に当たっては、公募により各都道府県等から提出される地域住民のニーズを踏まえた企画書をもとに決定している。また、環境教育の実践普及という事業目的を達成するためには、国が地方公共団体に対して一定の財政支援を行いながら事業を強力に推進する必要がある。不用率が大きいのは、環境教育フェアを当初、岩手県にて開催予定であったが、震災の影響により中止となったためである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。また、事業計画書及び事業経費の費目・使途の精査を行った上で契約を行うなど、その妥当性や透明性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	それぞれの地域の学校のニーズへのきめ細かな対応を行うべく、学校を対象とした支援事業として実施しており、実効性の高い事業となっている。また、当該事業で得られた具体的内容や活動内容については、データを本部へ送信し環境活動に利用するとともに、各種協議会の開催による情報提供、ホームページ掲載等、積極的かつ効率的に活用できるための措置を実施している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	各事業年度毎に各事業者から提出される事業実施計画書(事業開始前)及び事業完了報告書(事業完了後)等において、各事業者における支出先・使途を把握し、経費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。また、必要に応じて提出書類のみでは確認が不十分な場合には、個別に問い合わせるなど、各事業者における支出先・使途の把握に努めている。 平成24年度においてもこれらの取組を引き続き実施し、更に効率的な予算執行に努めている。 不用率が大きいのは、環境教育フェアを当初、岩手県にて開催予定であったが、震災の影響により中止となったためである。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点:この事業は、環境教育に関する優れた実践を促し、その成果の全国への普及を図るため、環境教育・環境学習指導者養成基礎講座の開催などを実施する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見:この事業は、平成23年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	この事業は23年度において、環境教育実践発表会が震災の影響により中止となったため不用が生じたが、24年度予算においては適切な規模を積算に反映し、見直しを行った。また、25年度要求においては、環境教育リーダー研修の実施箇所数の見直し等を行い、概算要求に1.821百万円反映した。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
○学習指導要領改正通知(平成20年3月28日) http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/03/31/1304440_001.pdf			
○教育振興基本計画(平成20年7月1日) http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/080701/002.pdf			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0085

文部科学省
8.5百万円

諸謝金
職員旅費
委員等旅費

0.5百万円を含む

環境のための地峡学習観測プログラム(グローブ)への参加や環境教育に関する実践発表大会(全国大会)、環境教育・環境学習指導者養成基礎講座などを実施し、環境教育に関する優れた実践を促し、その成果の全国への普及を図る。

〔公募・委託〕

A. 環境のための地球規模の学習及び観測プログラム
(グローブ)推進事業委託
8百万円
国立大学法人等 全13機関

「環境のための地球規模の学習及び観測計画」に参加する学校及び諸外国との連絡調整、当該計画に参加する学校に対する指導・助言、その他本事業を推進するために必要な調査研究を行う。

〔委嘱〕

B. 全国環境学習フェア
0百万円
岩手県教育委員会(震災のため中止)

幅広く環境教育・環境学習の普及・充実を図るため、環境について考える場を設け、環境教育・環境学習の在り方等についての研究協議等を行うとともに、これまでの各種活動の成果発表・展示会等を開催し、学校や社会における環境教育の一層の改善・充実資するため、実践発表大会を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.国立大学法人東京学芸大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	賃金	1.5			
その他	諸謝金、旅費、借損料、消耗品費、会議費、通信運搬費、印刷製本費等	3.1			
計		4.6	計		0
B.岩手県教育委員会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	(実施せず)				
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.環境のための地球規模の学習及び観測プログラム(グローブ)推進事業委託

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京学芸大学	参加する学校及び諸外国との連絡調整、当該計画に参加する学校に対する指導・助言、その他本事業を推進するために必要な調査研究	4.6	企画競争	—
2	広島県	環境のための地球学習観測プログラム(グローブ)への参加	0.6	企画競争	—
3	石川県	環境のための地球学習観測プログラム(グローブ)への参加	0.5	企画競争	—
4	北海道	環境のための地球学習観測プログラム(グローブ)への参加	0.4	企画競争	—
5	山口県	環境のための地球学習観測プログラム(グローブ)への参加	0.3	企画競争	—
6	愛媛県	環境のための地球学習観測プログラム(グローブ)への参加	0.3	企画競争	—
7	滋賀県	環境のための地球学習観測プログラム(グローブ)への参加	0.3	企画競争	—
8	埼玉県	環境のための地球学習観測プログラム(グローブ)への参加	0.3	企画競争	—
9	学校法人慶應義塾	環境のための地球学習観測プログラム(グローブ)への参加	0.2	企画競争	—
10	兵庫県	環境のための地球学習観測プログラム(グローブ)への参加	0.1	企画競争	—

B.全国環境学習フェア

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県教育委員会	震災のため中止	—	—	—